平和が大好き、憲法９条が大好き

生協労連・憲法闘争ニュース

2009年8月19日
第24号
生 協 労 連
電話 03 (3408) 0067
qyg03057@nifty.com

核兵器のない平和で公正な世界をつくろう

生協労連が決意表明
原水禁世界大会 in 長崎

2009 年原水爆禁止世界大会･長崎は８月７～９日の３日間長崎市内で開催されました。初日の開会総会は、海外代表の紹介、長崎の田上富久市長があいさつ。安斎育郎立命館名誉教授（国際平和ミュージアム名誉館長）が、世界大会国際会議宣言について、国際会議の討論をふまえて、わかりやすく紹介しました。その後、国連・政府代表者をはじめ海外、国内からの核兵器のない世界をめざす運動が紹介されました。

オバマ発言を実現するのは私たち

全体会、分科会では、最大の核兵器保有国のオバマ米大統領が「核兵器のない世界の平和と安全を追求する」と宣言したことで、核兵器をめぐる情勢が大きく変化していることが報告されました。しかし、オバマ大統領の宣言は、核兵器廃絶のきっかけにはなっても、そのことで核兵器がなくなるのではなく、核保有国に具体的な核兵器廃絶の道筋を示させること、日本国内はもとより、世界の草の根の運動と連帯して国際署名をはじめとしたとりくみを広げていくことが重要であることが強調されました。

長崎の田上富久市長のあいさつ

国際署名と 2010 年 NPT 再検討会議 決意と元気な歌で会場盛り上げる

閉会総会では、生協労連のなかまが初めて原水禁世界大会のステージに登壇しました。京都生協労組の沓脱隆二さんが、生協労連の「核兵器廃絶を求める」国際署名のとりくみ、2010 年の核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議へ向けたとりくみと、決意を発言しました。発言の最後には、「大きな歌」を会場いっぱいの参加者と元気に歌って、会場全体を盛り上げました。

海外代表の発言（28 カ国 83 人が参加）

（フランス）オバマ発言を引き出したのも、人々の力。もっと大多数の団結を形成しよう。NPT 再検討会議の時のニューヨーク行動には 200 人送りたい。

（インド）世界中の国が核兵器を禁止することで、核保有国を孤立させること。インド、パキスタンに核兵器を禁止させたい。日本は９条を守ってほしい。

（ノルウェー）私はヒロシマ、ナガサキでのことをノルウェーの国民に知らせたくて、放送局に連絡をした。そして、今朝、ノルウェー全国に放送された。

（イラク）2003 年から米軍の侵略に苦しめられてきた。被爆者は 64 年も苦しんできた。イラク国民も同じだと思う。私たちは「米国に武力で報復したい」などとは考えていない。

生協労働者のつどい「碑めぐり」

身近なところに原爆の傷跡

８月８日には、全国から生協のなかま 108 人が参加して、「碑めぐり」を実施。ララコープ平和委員会のガイドさんの引率で 10 グループに分かれて、原爆落下中心地公園をスタート地点として、浦上天主堂、如己堂、山里小学校、平和公園などをめぐりました。

住宅街の身近なところに、たくさんの碑や、原爆の傷跡があり、当時の原爆被害の大きさを感じざるを得ませんでした。「二度と悲劇は繰り返さない」と、あらためて実感した「碑めぐり」でした。

原爆症認定訴訟

原告団と政府が合意書確認

８月６日、広島で世界大会が開会した日、原爆症認定の集団訴訟の解決に向けた基本方針が、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）・集団訴訟原告団・弁護団と、政府の間で合意されました。

合意内容は、政府が控訴しない、議員立法で基金を設ける、厚生労働相と被団協・原告・弁護団で定期協議の場を設ける、原告団は集団訴訟を終結させることです。

今回の合意によって、訴訟の早期一括解決、被爆実態に見合った認定行政への道筋がつきました。今後は、合意したことを誠実に実行することと、被爆者の立場での認定制度などを実現させていくことが求められます。

「核兵器廃絶」国際署名にとりくもう

核兵器廃絶どう具体的になくしていくかの第一歩。その一歩が、私たち一人ひとりの核兵器廃絶への想いを込めた「核兵器のない世界を」国際署名です。原水爆禁止 2009 年世界大会では、日本から 1200 万筆の国際署名を来年ニューヨークで開催される NPT 再検討会議に届けようと提起されました。私たちも世界の核兵器廃絶を願うなかまとともに、職場、地域、家族、友人からたくさんの署名集めましょう。

■■■■一足お先に「生協労連 2400 作戦」
おおさかパルコープ労働組合

「憲法９条を世界に広げよう」、「軍事費削り、金持ち優遇税制改め社会保障・福祉にまわせ」、「働くルール確立」、「後期高齢者医療制度廃止」、「自公政権退場」、「比例削減反対、それより政党助成金廃止せよ」、「組織拡大」などを衆議院選挙とも絡めて訴えました。参加者は地域労組のなかまも含めて５人で実施。約１時間の宣伝で、340 個のポケットティッシュを 20 分で配布、そのあとは地域労組のパンフを配りました。

☆憲法のとりくみ、平和のとりくみの情報を生協労連までお寄せください